

Abstract: フィッシャーのランダム化検定と呼ばれる検定方法について、その基礎的な解説および近年の動向を述べる。ランダム化検定は、フィッシャーが提案してからおよそ 100 年が経過しているが、依然として多くの手法の拡張や新しい研究が進められており、とくに因果推論の分野における主要な分析手法となっている。本報告では、まず通常のランダム化検定の実施方法について詳しく解説する。次に、Hoshino and Yanagi (2023) に基づき、ランダム化検定を用いた処置効果の波及構造に関する検定を紹介する。